

平成21年度

決算報告書

第6期事業年度

自 平成21年4月 1日
至 平成22年3月31日



国立大学法人 筑波大学

平成21事業年度 決算報告書

国立大学法人筑波大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	43,702	45,240	1,538	(注1)
施設整備費補助金	3,224	6,695	3,471	(注2)
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	0	0	0	
補助金等収入	653	4,299	3,646	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	168	168	0	
自己収入	29,288	30,518	1,230	
授業料、入学金及び検定料収入	9,815	9,920	105	(注4)
附属病院収入	18,280	19,333	1,053	(注5)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	1,193	1,265	72	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	5,596	7,038	1,442	(注7)
引当金取崩	312	319	7	(注8)
長期借入金収入	0	0	0	
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	0	0	0	
目的積立金取崩	2,400	1,641	759	(注9)
計	85,343	95,918	10,575	
支 出				
業務費	59,327	57,720	1,607	(注10)
教育研究経費	39,573	38,062	1,511	
診療経費	19,754	19,658	96	
一般管理費	10,643	9,670	973	(注11)
施設整備費	3,392	6,863	3,471	(注12)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	653	3,599	2,946	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	5,596	5,332	264	(注14)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	5,732	5,732	0	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	85,343	88,916	3,573	
収入 - 支出	0	7,002	7,002	

- (注1) 運営費交付金については、平成20年度末の退職給付額が見込額を下回ったため、平成20年度から平成21年度への繰越額が多額となったこと、平成21年度から平成22年度への繰越額が少額になったことにより予算額に比して決算額が1,538百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、補正予算による耐震工事等の予算措置により、予算額に比して決算額が3,471百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、受入金額が増加したため予算額に比して決算額が3,646百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、入学者数が見込者数を上回ったため、決算額としては105百万円多額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、在院日数の短縮化及び高額処理・手術件数の増加などの経営改善により、予算額に比して決算額が1,053百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、不用物品売払収入などの増により予算額に比して決算額が72百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった民間からの寄附金等の獲得に努めたことなどにより、予算額に比して決算額が1,442百万円多額となっています。
- (注8) 引当金取崩については、予算段階で予定していなかった退職引当金対象者の退職が増えたため予算額に比して決算額が7百万円多額となっています。
- (注9) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかったレジデント・看護師宿舍整備のための前金払を前年度に行ったため予算額に比して決算額が759百万円少額となっています。
- (注10) 業務費のうち教育研究経費については、予算段階では予定していなかった雇用計画の見直しによる人件費の減少などにより1,511百万円少額となっています。また、診療経費については、後発医薬品への切替、医薬品・診療材料・検査試薬の価格見直し等の努力により96百万円少額となっています。
- (注11) 一般管理費については、光熱水料等の経費節減等の努力により、973百万円少額となっています。
- (注12) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が3,471百万円多額となっています。
- (注13) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が2,946百万円多額となっています。
- (注14) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、平成21年度から平成22年度への繰越額が多額になったことにより、予算額に比して決算額が264百万円少額となっています。